



避難の仕方

基本 「立ち退き避難」

災害が発生する前に、洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域の外にある指定避難所などの安全な場所に避難する。

時間帯・屋外の状況で判断

- 避難が困難な状況で、避難へ出る必要が生じる。
- 自宅の周辺がすでに浸水している、雨が強い、屋外が不安定な状況になっている。

逃げおくれ 緊急時 「屋内安全確保」

- 自宅の2階以上(新築から着けた部屋)
- 土砂が想定されているコンクリートの建物へ。

※危険を感じたら、避難行動などを待たずに自主避難を！逃げ遅れによる被害が多くなっています。

みんなで覚えておこう！

ハザードマップの見方

日頃から備えておくこと

状況に応じた避難ルートを確認しておこう！

自宅周辺の災害危険性を把握しておきましょう

避難先・経路・方法を確認しておきましょう

非常持出品の準備をしておきましょう

指定緊急避難場所等

- 指定避難所
- 福祉避難所
- 要配慮者利用施設
- 防災関係施設等
- 市役所・支所
- 警察署・交番
- 消防本部・消防署
- 水位観測所

洪水浸水想定区域 (浸水の深さ)

- 5.0m~10.0m未満
- 5.0m
- 3.0m~5.0m未満
- 3.0m
- 0.5m~3.0m未満
- 0.5m
- ~0.5m未満

土砂災害警戒区域等

- 等高線5m未満 (河岸侵食)
- 5.0m未満
- 4.0m未満
- 3.0m未満
- 2.0m未満
- 1.0m未満

土砂災害警戒区域 (土砂災害のおそれがある区域)

土砂災害特別警戒区域 (建物破壊され、住人に大きな被害が生じるおそれがある区域)